

News Release

アクセンチュアの最新調査、米国人旅行者の大半は飛行機による休暇旅行を今後も続行と発表

セキュリティへの懸念、空港での長い待ち行列による休暇計画の変更は発生

【米国ジョージア州アトランタ市発、2001年11月7日】

本日発表されたアクセンチュアの調査によれば、セキュリティ上の懸念により、米国人旅行者の10人中6人が、予定していた休暇中のフライトをキャンセルしています。また、同様のキャンセルの第二理由は空港で長い行列に並ぶことで、今回調査に応じた旅行者の28%が原因として挙げています。

米国人旅行者2,764人を対象にした今回の調査では、同旅行者10人中8人が、依然として、休暇を過ごす目的地まで飛行機を使うことを予定していますが、現在のセキュリティ対策 - 軍および警察による警備、検査場を何ヶ所も設けること、機内持ち込み手荷物の制限- が有効であると信じているのは、そのうちわずか61%に過ぎないことが明らかとなりました。

アクセンチュア運輸・旅行産業グループのグローバル・マネージング・パートナー、ロン・スチュワート (Ron Stewart) は、同調査が航空産業はセキュリティ対策を改善し、顧客の信頼を取り戻すという課題とチャンスに直面している事を明らかにしていると述べています。

「運賃を下げたり、どこにでもある日用品を規制したりするだけでは、空が旅行者で一杯になることはないでしょう。航空業界の経営陣は迅速に対応し、セキュリティを通して顧客の信頼と利便性を回復しなければなりません。それにはテクノロジーの使用が不可欠です」

<信頼の獲得>

『頻繁なビジネス旅行者』であろうと、『休暇を目的とした旅行者』であろうと、その自己認識に関わらず、すべての回答者は、既に実施されているセキュリティ対策を更に向上させる、様々な形態のテクノロジーを使用することに賛成しています。今回の調査では以下のことが判明しました。

- 回答者の60%以上が空港は監視ビデオを増やすべきだと考えている。
- 回答者の41%が生物測定装置を採用すべきだと考えている。

- 国家的な身元確認システムを設けることに賛成している人は、回答者の 32%に過ぎない。
- 旅行をキャンセルした回答者の 26%が、景気減速が原因であると述べた。
- 回答者の約 80%が、航空会社と行政機関がデータベースを共有して協力を深めるべきであると考えている。

「テクノロジーを用いれば、乗客が空港に到着するかなり前の段階でセキュリティを向上することができます。特に、連邦政府の警戒リストと情報を共有する早期警告システムを採用すれば、セキュリティ網が広がります。このシステムは乗客が旅行を予約した時点で機能するようになっています。」と、スチュワートは述べています。

<新施策-早期警告システム>

このシステムは現行のデータとテクノロジーを用いれば、すぐに実行することができます。同システムが防御第一線のデジタル・スクリーニング・プロセスとして機能すると、不審な挙動パターンを検知し、航空会社及び旅行産業にリスク管理をする為の実践的方法を提供することが可能になります。

同システムが挙動パターンを監視することで、手荷物検査場での待ち時間は短縮され、不必要な時間のかかる検査を行わなくて済みます。更に、航空・旅行業界は最も疑わしいケースに焦点を当てたセキュリティ対策に集中することができます。

早期警告システムは、重要なデータを効率的に蓄積および分析し、報告を行います。

- **犯罪容疑者としてのリスクが最も小さい（検査の列に並ばなくても良い）乗客-**
スーパーコンピュータ・データベースが、航空会社と旅行代理店を通じて乗客が提供した情報を受信し、次に連邦政府の警戒リスト、及び最新リスク・プロフィールとのデジタル照合を行い、予約システムまたは当局に、セキュリティ上リスクのある人物がいることを警告します。不信な行動を示すこともなく、また警戒リストにも載っていない他の全ての乗客は、直ちに旅行の為の承認が与えられます。
- **犯罪者の恐れのある乗客を識別する-**
顔の輪郭識別や指紋技術などの生物測定装置を加えたデータベースに含まれたプロフィールを用いることで、早期警報システムは全ての旅行者を明確に識別することが可能です。必要ならば、その情報は直ちに連邦政府職員に送られます。
- **多元的旅行形態と地理的情報に基づいて異常かつ潜在的に疑わしい挙動を識別する-**
「スーパーPNR」（乗客名簿記録= Passenger Name Record-既に発券された全ての航空券に適用）を通じて、同システムは、あらゆる航空会社、ホテル、レンタカー会社、鉄道会社およびバス会社からの情報を統合し、疑わしい旅程、支払い方法、その他の異常な行動を調べることができます。

<今回の調査方法>

今回の調査は、米国内において 10 月中旬、過去 12 ヶ月に 1 回以上、民間航空機に搭乗した 25 歳以上の成人 2,764 人を対象に実施されました。回答者のうち約 40%が、過去 12 ヶ月に 5 回以上民間航空機に搭乗していました。誤差率は ±2%であり、この調査は全てオンライン上で行われました。

アクセントチュアについて

アクセントチュアは、経営とテクノロジーのコンサルティングにおける世界的な先進企業です。アライアンスやベンチャーその他の手法を通じ、コンサルティングやアウトソーシングに関するノウハウを蓄積、独自のビジネスアプローチとそのネットワークにより、あらゆる業界の顧客企業が自身のビジョンを迅速に実現できるよう、革新的なアイデアと技術を提供します。アクセントチュアは世界 46 カ国に 7 万 5 千人以上の社員を擁し、2001 年 8 月 31 日を期末とする 2001 会計年度の売上高は 114 億 4 千万ドルでした（2001 年 7 月 19 日 NYSE 上場、略号：ACN）。

アクセントチュアの詳細は

www.accenture.com を、

アクセントチュア株式会社の詳細は

www.accenture.com/jp をご覧ください。